

商い創造研究所10周年設立記念特別シンポジウム

2018商業が何を変えるのか

日時：2017年11月13日(月)／14:30～17:45
会場：東京・富士ソフトアキバプラザ アキバホール
参加費：5,000円＋税(当日の講演資料代込み)
主催：商業施設新聞 J32

申込締切：11月10日(金)

定員に達し次第締め切りとさせていただきます

商業施設新聞では、大好評連載中の「商いの新しいものさし」でお馴染みの松本大地氏が代表を務める「商い創造研究所」の10周年を記念し、「2018 商業が何を変えるのか」と題したシンポジウムを11月13日(月)に開催いたします。2018年やそれ以降の商業トレンドをリードしていく新たな価値創造業態、そしてそれが未来の街づくりにどんな影響をもたらすかについて、数多くの商業施設をプロデュースしてきた松本氏の目線で熱く語っていただきます。加えて、本紙編集長・松本顕介が「オーバーストア時代」「激化する都市間戦争」「ポスト五輪の街づくり」といったキーワードをもとに商業施設の最新トレンドを語ります。そして最後には両講師によるトークセッションも予定されています。2018年以降の商業施設トレンドを先取りする絶好の機会ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

14:30～15:30

「2018年以降にオープンする
商業施設と街づくりのトレンド」

商業施設新聞 編集長 松本 顕介



15:30～16:30

「時代をリードする、新たな業態開発」

～ネットにはできないリアルメリットを強めた価値創造～

(株)商い創造研究所 代表取締役 松本 大地



1952年神奈川県生まれ。金融、小売ビジネスを経験後、1988年丹青社入社。商業施設のプロジェクトマネージャーを経て、マーケティング研究所所長に就任。2007年商い創造研究所を設立。小田原市、富山市、熊本市、酒田市、鎌倉市、和歌山市などの街づくりコンサルティングから、数多くのSCや駅ビル開発などのプロデュース業務を手掛ける。日経MJ、織研新聞、日本SC協会広報誌での連載を始め、商業施設新聞では2011年1月より「商いの新しいものさし」の連載は、80回を超えたロングランを続けている。FM番組のパーソナリティー、大学でのマーケティング講義の他、米国・オレゴン州ポートランド市の街づくり研究を続け、「最高の商いをデザインする方法」(エクスタレッツ社)を発売。経産省コト消費研究会委員、小田原市や鎌倉市アドバイザー、酒田未来教長、震災復興支援アドバイザーなどに就任した。

16:30～16:45 ブレイク

16:45～17:45

トークセッション&質疑応答

※講演タイトルは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。